

令和7年度 江戸川区立西葛西小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考える子</li> <li>○心豊かな子（重点目標）</li> <li>○たくましい子</li> </ul>	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が明るく元気に学び合える学校（子どもが通いたい学校）</li> <li>○保護者が安心して子どもを任せられる安全な学校（保護者が通わせたい学校）</li> <li>○地域に開かれ、地域から信頼される学校（地域が応援したい学校）</li> <li>○教職員が笑顔で共育・協働し、自分の力を発揮できる学校（教職員が働きたい学校）</li> </ul>
前年度までの本校の現状	成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童本人の特性に合った居場所づくりの推進。別室指導員の活用、エンカレッジルーム、学校サポート教室や教育プラザ、フリースクールへつなぐことができた。</li> <li>・授業時数と会議を減らし業務改善を推進。子供と向き合う時間の確保や授業力向上につなげる教材研究の時間確保ができた。</li> </ul>	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な対応による不登校の未然防止</li> <li>・教員の専門性を生かす指導体制の充実による、より一層の学力の向上</li> </ul>

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進による主体的・対話的で深い学びの実現 ・学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得 ・特別活動の充実による自主的・実践的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学習、放課後補習教室を年間70回以上実施</li> <li>・3～6年生の習熟度別少人数算数授業の実施</li> <li>・一人一台タブレット端末を活用した授業の1日1回以上の実施</li> <li>・江戸川っstudy week!の学期1回の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数ベーシックドリルで80%以上の児童が、正答率75%以上達成</li> <li>・児童アンケート「学習することが楽しい」80%以上</li> <li>・「学校生活が楽しくなるように、係活動や学区行事などにすすんで取り組んでいる」80%以上</li> </ul>			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「学習することが楽しい」89%で昨年度とほぼ同様の結果である。</li> <li>・「学校生活が楽しくなるように、係活動や学校行事などにすすんで取り組んでいる」88%と学習や行事に対して前向きに取り組んでいることがわかる。</li> <li>・東京ベーシックドリル（4月）の正答率80%以上の達成率は、2年は73.1%、3年は55.3%、6年は73.1%で未達成である。4・5年は学力定着度調査平均正答率は（4月・算数）は4年82.8%、5年69.5%である。</li> </ul>							
	<教員の専門性向上> ・教員の専門性を生かす指導体制の充実 ・校内研究の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中、高学年における教科担任制（理科・社会科）の実施</li> <li>・学年を単位とした小グループでの主体的で実践的な校内研究の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「教科担任制での学習は分かりやすい」85%以上</li> </ul>			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校では、3年～6年で理科と社会科の教科担任制を実施している。児童アンケート「教科担任制での授業は分かりやすい」は91%であり、今後も授業を充実させていく。</li> <li>・校内研究は日々の学習の中で反映させるために、学年毎で計画を立てている。</li> </ul>							
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書科研修の充実</li> <li>・学校司書の活用</li> <li>・学校図書館の環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「進んで読書をする」80%以上</li> <li>・全クラス国語科、読書科、社会科、総合的な学習の時間等で年間10時間以上の調べ学習実施</li> </ul>			B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「進んで読書をする」は75%であり、昨年度の1回目の結果より6%減少した。（保護者は67%で前年の同じ時期より2%減少している）</li> </ul>							
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・運動意欲や基礎体力の向上を図る取組の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なわ跳びウィークを年3回実施し、具体的な回数目標の設定</li> <li>・晴れた中休みは極力外遊びを推奨</li> <li>・体育科学習の導入で、運動遊びなどの心と体をリフレッシュさせる取り組みの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「外遊びをよくしている」85%以上</li> <li>・体力テスト各種目の平均点において全ての種目で区平均点以上</li> </ul>			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「休み時間に外遊びをよくしている」児童は83%と昨年度より2%減少している。</li> <li>・体力テストは5月から練習期間を設け、全校一斉実施はソフトボール投げのみとした。なわ跳び週間や運動委員会のなわ跳び動画を通して運動に親しむきっかけづくりはできた。</li> </ul>							
	<地域の伝統文化との共生> ・江戸川区と関連深い相撲行事を通して、体力の向上と礼儀作法を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わくわくすもう教室」や「わくわくすもう大会」等の特色ある教育活動を通して、相手を敬う態度や基礎体力の向上の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「運動することが好き」85%以上</li> </ul>			-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期はアンケート実施なし。2学期に実施する。</li> </ul>							
	<健康の増進> ・食に関する指導の充実 ・葉を磨く習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・味覚の指導</li> <li>・給食後の歯磨きタイムの設定</li> <li>・フッ化物洗口の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート「歯を磨く習慣」85%以上</li> </ul>			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート「歯を磨く習慣が身に付いている」は93%である。（児童83%）昨年度から実施している歯みがき・フッ化物洗口の効果が出ている。虫歯率も昨年度に比べて7%減少した。</li> </ul>							

<p>実現に向けた 教育の推進</p>	<p>＜特別支援教育の推進＞ ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副種交流、交流及び共同学習の実施・充実</p>	<p>・特別な支援が必要な児童への学校生活支援シート、個別指導計画の作成 ・校内委員会を月1回実施 ・毎時間のエンカレッジルーム担当教員の設定</p>	<p>・地域の保育所、幼稚園等との交流を1回以上実施 ・児童アンケート「友達を大切にしている」90%以上</p>		A	<p>・校内委員会（月1回）、生活指導夕会（金）を通して、配慮が必要な児童の情報を共有し、エンカレッジルームなどの個別対応に活かしている。一方、保護者アンケートは「分からない」が53%である。学校側の取り組みをどう発信していくかが課題である。 ・児童アンケート「友達を大切にしている」は昨年度同様95%である。（保護者99%）</p>					
<p>不登校・いじめ対応の充実</p>	<p>＜子供たちの健全育成に向けた取組＞ ・教育相談の教科 ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応</p>	<p>・江戸川区子どもの権利条約の理解 ・児童の心に響く共感的な生活指導 ・いじめの授業やいじめアンケートを年間3回実施 ・いじめ防止対策委員会の定期的開催</p>	<p>・L-Gateを活用して毎日児童に自身の健康・心情状態をチェックさせ、何か変化があれば早期対応する。 ・いじめの可能性が疑われる場合、欠席5日以上で関係者への聞き取りや連絡等を確実に行う。</p>		B	<p>・6月のふれあい月間でいじめアンケートを実施。結果を集計し、いじめ防止対策委員会での共有をした。今後、11月、2月にも実施する。 ・今年度からL-Gateを導入した。日々の児童の変化に迅速に対応できるようになったので、生活指導や学級経営に活用していく。</p>					
<p>不登校対策の充実</p>	<p>＜不登校対策の充実＞ ・組織的な対応</p>	<p>・日常的な観察や情報共有 ・校内における居場所づくり ・関係機関との連携</p>	<p>・不登校児童の関係諸機関との連携100%</p>		B	<p>・不登校児童の保護者と担任との電話相談、家庭訪問を実施している。日常的に情報共有を行い、校内における居場所づくりに繋げている。 ・保護者アンケート「教員は児童の悩みごとや困ったことに寄り添っている」は79%である。（昨年度から5%減少） ・関係機関との連携は随時進めている。</p>					
<p>学校（園）の現状</p>	<p>＜自校（園）の取組の積極的な発信＞ ・学校（園）ホームページの充実等 ・学校（園）公開の実施・充実</p>	<p>・学校ホームページの毎日の更新 ・学校公開の充実</p>	<p>・ホームページ閲覧数昨年度比100%以上 ・学校公開への参加率90%以上 ・保護者アンケート「教育活動の公開度」80%以上</p>		A	<p>・保護者アンケート「教育活動の公開度」は94%であり、昨年度より2%減少した。（昨年度と同水準） ・学校公開の6月参加率は91%である。 ・学校ホームページは毎日更新している。昨年度4～6月（39680人）と比較し、今年度4～6月（45088人）の訪問数は確実に伸びている。</p>					
<p>地域社会に開かれた学校（園）の実現</p>	<p>＜保護者・地域の方々の協力による教育活動の推進＞ ・保護者、地域人材の活用</p>	<p>・学校応援団、読書ボランティア、授業ボランティア等の活用</p>	<p>・保護者アンケート「保護者・地域の人材活用」80%以上</p>		A	<p>・保護者アンケート「保護者・地域人材の活用」は95%である。引き続き、地域の方と協力しながら教育活動を推進していく。 ・1学期は体力テストや読み聞かせ、生活科町探検で保護者ボランティアを募り、教育活動を推進できた。</p>					
<p>特色ある教育の展開</p>	<p>＜特色ある教育施設を生かした教育活動の推進＞ ・土俵の活用 ・愛鳥モデル校</p>	<p>・「わくわくすもう教室」や「わくわくすもう大会」の実施 ・巣箱づくりの実施</p>	<p>・保護者アンケート「特色ある教育活動の実施」80%以上</p>		A	<p>・保護者アンケート「特色ある教育活動（わくわくすもう大会、わくわくすもう教室、巣箱づくり）」は97%、今後も学校公開、HP等を通じて、学校の取り組みを発信していく。</p>					
<p>特色ある教育の展開</p>	<p>＜防災意識の向上＞ ・防災教育の実施</p>	<p>・高学年児童を対象とした防災に関する授業の実施</p>	<p>・当日の児童アンケートにおける肯定的な回答90%以上</p>		-	<p>・1学期は実施なし</p>					
<p>特色ある教育の展開</p>	<p>＜学校における働き方改革＞ ・「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施</p>	<p>・学校経営支援を担う人材の導入 ・校務の精選と見直しの継続的实施 ・定時退勤日の設定</p>	<p>・学校評価（教職員）での働き方改革推進に関する項目の肯定的な評価80%以上</p>		A	<p>・学年アシスタントの配置（低学年）、SSSの活用などを通じ、印刷、アンケート入力などの仕事を依頼できる環境が整ってきた。 ・職員による改善案を集約し、校務の精選と見直しを実施する。</p>					